

3000 人の楽しい町

No.572

町報

こうふ

2018

11月

KOFU



Let's capture the colors.

～秋の色を描こう～

動画で町報こうふ!

URL: <https://www.youtube.com/user/townkofu>



－特集－

共に生きる。あたたかい目と手

～認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり～

「認知症」。誰もがかかる可能性があり、また誰もが家族の介護などで関わる可能性があるみんなにとって身近な病気です。では、実際にはどういう病気なのか知っていますか…？

国では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることのできる社会の実現を目指した「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新・オレンジプラン)が平成27年に策定されました。

江府町では、認知症はみんなにとって身近な病気であることを前提に、町全体で認知症の方や家族を支えることのできる基盤づくりをすすめています。

その第一歩となるのが、まず認知症を正しく理解すること。それが私たちにできることを考えることにつながります。今後さらに増えるであろう認知症という病気を「じぶんごと」として捉え、家族や大切な人が認知症になるかもという思いやりを持って、誰もが笑顔で歳を重ねることができる江府町をみんなで作っていきましょう。

■認知症とは

どういう病気なのか

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障がいが起こり、生活する上での支障が、およそ6ヶ月以上継続している状態をいいます。

若い世代が発症する「若年認知症」も増えていますが、一般的に認知症は加齢とともに発症する可能性が高くなります。つまり、特別な人に起こる特別な出来事ではなく、歳をとれば誰にでも起こりうる、身近な病気であるといえます。

江府町の65歳以上の人口は、平成30年9月末現在で1332人、高齢化率は45.4%という超高齢社会であり、認知症高齢者数は、要介護認定者283人のうち216人(76.3%)で、65歳以上人口の16.2%を占めています。地域包括支援センターと江尾診療所が共同で運営している「もの忘れ外来」では、受診者のうち、認知症による症状があっても介護認定を受けずに暮らしている方もみられることから、実態としてはさらに数が多いと考えられ、厚生労働省

が示す65歳以上人口のうちの認知症有病率推定15%よりもはるかにその割合が高いことが想定されます。具体的な参考値として、町が平成24年度にモデル3集落で実施した「もの忘れ健診(60歳以上対象、受診率97.4%)では、9.6%が認知症、30.7%が軽度認知障がい(*)と判定されたことから、地域高齢者の約4割に何らかの認知機能の障がいがあると考えられます。高齢化率が45%を超える江府町では、これらの数が増えます。

日常生活に支障を来す程度には至らないため認知症とは診断されないが、記憶障がいと軽度の認知障がい認められ、正常とも言えない中間的な段階をいう。この時期の生活のあり方により正常に戻ることもできる。

*軽度認知障がい(MCI)とは

■認知症を引き起こす

おもな病気の種類

脳の疾患部位により「アルツハイマー病」「レビー小体型認知症」「前頭側頭型認知症」「脳血管性認知症」の四つが主な種類です。認知

症の症状を示す疾患として、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、甲状腺疾患などがありますが、これらは、治療可能な疾患です。

■認知症の「症状」とは

認知症の症状は「中核症状」「行動・心理症状」の二種類に大別されます。その他、原因となる病気によって多少の違いはあるものの、麻痺や歩行の障がいなどの身体的な症状が出てくることもあります。

「中核症状」は直前に起きたことを忘れるような記憶障がい、時間や場所などがわからなくなる見当識障がい、ものごとを考えたり、判断する力が低下するなどの症状があります。

「行動・心理症状」は、記憶障がいなどの中核症状がもとになり、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係などが影響して現れる症状です。これまでテキパキできていた料理がうまくできなくなったり、家の整理整頓や掃除ができなくなったりします。また、気分が落ち込み無気力になる、攻撃的な言動、性格の変化などがみられます。

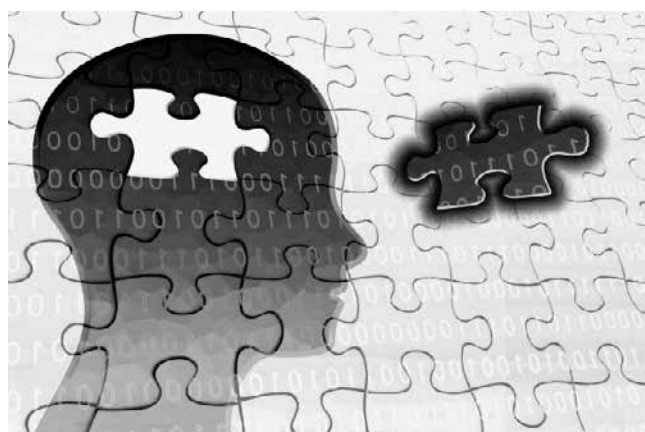
■加齢によるもの忘れと

どう違うのか

認知症のもの忘れは、加齢による一般的なもの忘れとは違います。

加齢によるもの忘れは「体験の一部を忘れる」「もの忘れを自覚」「探し物を見つけようとする」「とりつくりが見られない」という特徴があります。これに対し、認知症の場合は「体験そのものを忘れる」「自覚に乏しい」「誰かにとられたと思い込む」「とりつくり」など、日常生活に支障を来すという特徴があります。

（＊症状には個人差があります）



加齢によるもの忘れと認知症の記憶障害との違い

加齢によるもの忘れ		認知症の記憶障害
経験したことが部分的に思い出せない	↔	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	↔	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	↔	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	↔	食べたことじたいを忘れている
約束をうっかり忘れてしまった	↔	約束したことじたいを忘れている
物覚えがわるくなったように感じる	↔	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	↔	月や季節を間違えることがある

■認知症の方の思いは

そして、家族の思いは…

認知症の症状は多様で、一人一人に合ったケアが大切になります。周囲は認知症の方に対して「何もわからなくなる」「徘徊や妄想、興奮など異常行動を起こす面倒な人」などと決めつけてしまうことがあります。本人は、自分に起きている変化に気づいていて、とまどいや不安を感じています。例えばもの忘れが頻繁に起きて混乱したり、鍋を焦がしたり、同じものを何度も買ってしまったり生活の中での失敗が多くなります。こうしたことが積み重なり、周囲の理解もなく、仕事や生活について自信を喪失していきます。

一方、家族や周囲の人が認知症を受け入れ、支えることは容易なことではありません。病気を理解し、認知症の人に寄り添うことができるようになるには「戸惑い・否定」↓「混乱・怒り・拒絶」↓「割り切り」↓「受容」という過程を経験すると言われています。第四の「受容」にたどりつくまでには、第一から第三の状態を行ったり戻ったり、その時期を通り抜け、「あるがま

ま」を受け入れられるようになるためには、介護者の気持ちの余裕が必要です。最も大切なことは「悩みを抱え込まないこと」です。認知症の人本人や家族に対する周囲からの理解や支援と、介護サービスの適切な利用などによって、認知症の方も、それを支える周囲の方も、心穏やかに暮らすことができるはずです。

■家族や大切な人が

認知症になったら：

もしも家族や大切な人に「あれ？認知症かも」と思う症状が表れたとき、どこに相談したらよいかわからないという方も多いかもしれません。認知症に限らず、ほとんどの病気が、身近になって初めていろいろ考えることになることが多いでしょう。そういう時は、相談しやすいかかりつけ医にご相談いただくか、お気軽に、町の地域包括支援センターにご相談ください。

町地域包括支援センターには、「認知症地域支援推進員」が常駐し、家族の方などからのご相談を受けたり、保健師との連携による初期支援などを行っています。

江府町認知症地域支援推進員の坂本です！

認知症の人への対応には、認知機能の低下があることを正しく理解している必要があります。

そして、偏見を持たず、認知症は自分たちの問題なんだという気持ちで、認知症の方を支援する姿勢が大切です。認知症の人だからといって、つきあいを基本的には変える必要はありませんが、正しい理解のもとでの対応が必要です。記憶があいまいになったり、判断する力が衰えてくることから、社会的なルールを守れないなどのトラブルが起ってしまった場合にも、認知症の人への対応の心得“3つの「ない」”①驚かせない、②急がせない、③自尊心を傷つけない、の対応が求められます。また、具体的な対応のポイントとして、次の7つがあります。

まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。

余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。

声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をおおしやすいので、できるだけ1人で声をかけます。

後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声かけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいましたか？」「こちら

でゆっくりどうぞ」など。

やさしい口調で

小柄な方の場合、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。

おだやかに、はっきりした話し方で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくり、はっきりと話すように心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急かされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。

ふだんから、近所などでの、あいさつや声かけも大切です。日常的にさりげない言葉がけを心がけることは、いざというときの対応にも役立ちます。

認知症の方やその家族の「応援者」として、認知症サポーター制度があります。「養成講座」を受講していただくことで、どなたでもサポーターになれますので、講座を開きたい方はお気軽に地域包括支援センターへご相談ください。



▲江府町認知症地域支援推進員 坂本 明美さん

人と人との交流

地域での支え合い

これまで、病気に対する正しい理解、そして、認知症の方や家族に対する関わりなどについてお知らせしてきました。最後に、誰でもできる認知症の予防について、町の取り組みなどを紹介します。

認知症を予防するには、食生活などの規則正しい生活習慣や有酸素運動（軽いウォーキングなど）、頭を使いながら指先を動かす知的活動（囲碁や将棋、裁縫など）が効果的といわれています。そして、もう一つ大切なことが「コミュニケーション」。一般的に、閉じこもりがちで人との交流の機会が少ない人は、認知症になりやすいと言われています。特別な外出でなくとも、近所の人と声をかけ合う、地域の行事に参加する、そんな日常の身近な交流を積極的に行うことが大切です。

町や、社会福祉協議会で行っている活動も、認知症の予防にぜひご利用ください。また、これらのメニューには、ボランティアとしての参加もお待ちしています。支え合いの輪を広げましょう！

◆認知症や介護予防のために◆

事業・施策など	事業・施策など	お問い合わせ先
まちなかサロン(江尾)	閉じこもり予防や身体の機能維持(毎週火曜)	社会福祉協議会 【電話:75-2942】
俣野いこい広場	楽しい頭の体操や身体を動かすゲームなど(毎月第4木曜)	
オレンジカフェ(旧俣野小)	お茶を飲みながら楽しいおしゃべり(毎週木曜)	
ボランティアセンター(江尾)	憩いの場として自由に利用 (定期的に、脳トレや茶話会に利用されているグループもあります)	
神奈川サロン		
一人暮らし高齢者のつどい	園児や小学生との交流もあり。(毎月第2金曜)	地域包括 支援センター 【電話:75-6111】
もの忘れ外来	認知症に関する身近な専門の相談機関 毎月第1・3木曜(完全予約制)	
江美の会	「回想法」を使ったおしゃべり、体操やゲーム(毎月第1火曜)	
家族の会	介護する家族の方の相談・交流の場(毎月第2木曜)	
いどばたグループ支援	集落など小グループの活動への補助	

＊この他に「いこいの広場 らんちゅう」や「尚仁福祉会 まめトレ」でも、脳の活性化や身体機能維持のためのメニューが提供されています。ご利用については、地域包括支援センターへご相談ください。

終わりに

江府町第七期介護保険事業計画は、目指すべき町の姿を「一〇〇歳まで笑顔で『長生きしてよかった』といえるまち」と設定し今年度からスタートしました。この中では、今後の施策展開の一つの柱として「地域の力を活かして支え合うしくみの構築」を掲げています。これは、江府町に住む人々が世代や分野を超えてつながり、一人一人のくらしと生きがい、みんなの力で住みやすい町を創ろうという社会を目指すものです。

超高齢社会。一人暮らしや高齢者だけの世帯がますます多くなっている中、普段からの交流や見守りで、ちょっとした変化に気づけるような「お互いさま」が非常に大切になります。歳をとっても、認知症になっても、決して何もできなくなるわけではありません。自分の好きなことができる喜び、「ありがとう」を言ってもらえる喜びを創る。その先にはきっと「助けて」と言える社会も広がっていくはずです。あたたかい目と手。そんな江府町を、みんなで一緒につくっていきましょう。

江府町慰霊祭

～平和への祈り～

10/30

10月30日、江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭が仏式により執り行われ、戦争で犠牲になった戦没者・殉職者のご遺族と共に、先の大戦で尊い犠牲となった方々の霊を慰め、引き続き平和で豊かな社会となるよう祈りを捧げました。当日は、ご遺族をはじめ50名の方々が303柱のみたまの前で黙とうを捧げ、参列者全員で焼香を行いました。



▲遺族並びに来賓の皆様による焼香の様子

10/31

江府町の地域振興のために寄付を進呈

～日本通運株式会社山陰支店～



▲目録を渡す日本通運株式会社山陰支店
属 敏宏支店長 (写真左)

10月31日、日本通運株式会社寄付金贈呈式が行われ、日本通運株式会社山陰支店属 敏宏支店長から白石町長へ目録が手渡されました。

属支店長は「江府町の地域振興のためにご活用いただければと思います。また、求人募集についても移住・定住等と連携しながらPRをしていきたいです」と述べられました。貴重なご寄附をありがとうございました。

エイジレス・ライフ実践事例伝達式 ～高齢者の孤立防止と健康増進に尽力～

10/3

平成30年度「エイジレス・ライフ実践事例」に谷口歌子（本一）さんが選ばれました。「エイジレス・ライフ」とは、年齢にとらわれず元気にいきいきとした生活を送るという意味で、全国の事例58件のうち、鳥取県では唯一の選出となりました。平成24年から本町一丁目集落で高齢者サロン「なごみ会」を主宰し、介護予防の学習会などの取組が受賞につながりました。



▲白石町長から伝達を受ける谷口さん

10/3

天日干した稲はいい匂い



▲「はで」から外し、脱穀する様子

10月3日、江府小学校前の田んぼで江府小学校5年生が脱穀体験をしました。9月25日に稲刈りを行い、「はで」にかけ天日干し。ずっしりと実が詰まった稲を「はで」から外し、コンバインで脱穀していきました。「今日、収穫したもみは何キロでしょうか。正解は20キロです」と地元の方から説明を受けると、子どもたちは「もっと多いと思った」と驚きの表情でした。

10/20、21

各種お米コンテストで江府町から複数入賞！



▲日野川源流米コンテスト
受賞者(左から)越峠嘉道さん、
長尾保さん

▲きぬむすめコンテスト受賞者
(左から)農事組合法人宮市
松本良史さん、遠藤功さん

10月20日、農と食のフェスタinせいぶ内で開催された『第6回きぬむすめ食味コンテスト』で農事組合法人宮市が最優秀賞、遠藤功さんが優秀賞を受賞されました。また21日、同イベントで開催された『食のみやこ鳥取県第16回日野川源流米コンテスト』で越峠嘉道さんが特別賞、長尾保さんが奨励賞を受賞されました。

しいたけ醤油「奥大山」の発売を開始 ～道の駅奥大山プロデュース～

10/12

道の駅奥大山のプロデュースによる、しいたけ醤油「奥大山」(製造者:株大正屋醤油店)が完成。SAC中尾しいたけ屋の中尾和仁さんが尾之上原で生産した原木しいたけを使用し、奥大山の水で仕込んだ、食品添加物不使用のこだわり商品。パッケージの題字は梅林表翠さん(本名:梅林徹、武庫在住)が担当しました。道の駅奥大山限定で税込500円にて販売しています。



▲完成した商品を持参し表敬訪問
(写真左から)梅林表翠さん、古海駅長、中尾和仁さん

10/12

中山間集落見守り活動に関する協定を締結

～鳥取県×江府町×合同会社えんちゃん～



▲協定締結時の様子
(写真中央:合同会社えんちゃん遠藤代表、
写真右:日野振興センター越智所長)

鳥取県および江府町は、合同会社えんちゃんと協定締結式を行いました。この活動は行政と民間事業者が連携し、住民の日常生活の異常を早期発見する体制をつくるのが目的です。民間事業者は通常業務の中で発見した住民の異変等を市町村へ連絡、通報を行い住民が安全で安心した生活を送ることができる地域づくりに協力します。

平成30年度鳥取県社会教育振興大会にて実践事例を発表

10/5

倉吉未来中心にて平成30年度鳥取県社会教育振興大会が開催され、江府町から6名が参加。「ひなまつりコレクション」によるにぎわい創出について、江府町文化協会顧問手島征夫さんが実践事例を発表。手島さんは「町外の方から『来年ぜひ見に行きます』と感想をいただき嬉しかった。みんなで元気を出して頑張ることの大切さを伝えることができてよかった」と述べられました。



▲手島さんの発表に、賞賛の声や、参考にするための質問もありました

奥大山スキー場リフトが中国運輸局運転無事故表彰を受賞

10/11

10月11日、中国運輸局鉄道関係功労者等表彰において、奥大山スキー場のリフトが平成23年以降無事故運転であるため、索道運転無事故表彰を受賞しました。

10月14日の「鉄道の日」記念行事として広島市内のホテルにおいて表彰式が開催され、伊達索道安全統括管理者が出席し、土肥中国運輸局長より表彰されました。引き続き安全運転に取り組んでいきます。



▲記念行事の様子

「第40回少年の主張鳥取県大会」で入選

～江府中学校1年生の山本小太郎さん～



▲入選された山本小太郎さん

「第40回少年の主張鳥取県大会」において、応募総数1029編（うち入賞12編、入選8編、佳作10編）の中から、江府中学校1年生の山本小太郎さんの作文が入選の栄に輝きました。入選作品は自身の体験をもとにした「正義が判断の基準」という作文。山本さんは「自分の体験をもとにした作文が評価され嬉しく思います」と述べられました。

第57回江府町卓球大会(職域・グループの部)

～江府町民運動公園総合体育館～

10/12

職場・グループの仲間で構成された12チームが参加。各チーム5人の対戦で勝敗を競い、予選リーグと決勝トーナメントを実施しました。結果は以下の通りです。

〈結果〉

優勝 TEAM52

準優勝 サンエス

第三位 このゆびとまれ、このゆびとまれⅡ



▲優勝の「TEAM52」のみなさん

10/21

第39回江府町民バレーボール大会 ～江府町民運動公園総合体育館～



▲息のあった連携プレーが続出

Aリーグの9人制バレーに3チーム、Bリーグの4人制ソフトバレーに12チームが出場し、予選リーグと決勝トーナメントを実施しました。結果は以下の通りです。

〈Aリーグ〉

優勝 新町一丁目

準優勝 佐川

第三位 貝田

〈Bリーグ〉

優勝 新町一丁目

準優勝 江府クラブ

第三位 佐川A、サントリー

「不易流行」

「よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する」

地域づくりにおける

「人」の重要性

「地域の元氣創造」をテーマに、総務省と鳥取県が主催する全国市町村長サミット2018 in鳥取が、10月11日に米子コンベンションセンターで開催されました。「鳥取県の中山間地域における生活支援サービスの継続」というテーマで、この10月に「あいきょう」から「えんちゃん」に事業継承された町内唯一のスーパーと、移動販売をきっかけに生まれた学生とのつながり、関係人口の拡大についての取組みをお話ししました。コーディネーターを務められた慶應大学の飯盛(いさがい)義徳教授は、地域づくりで大切なポイントは、いろいろな人が相集い、相互作用によって、予想もしないような活動や価値を次々と生み出していくこと(社会的創発)だと強調され



▲村民の事務作業場所を、(株)まちづくり新庄村が管理

ており、私も同感です。また、10月16日には3年連続社会増を実現されている、岡山県新庄村を視察しました。小さな村ですが住宅対策に積極的に取り組むとともに、株式会社まちづくり新庄村を設立し、テレワークの誘致やコミュニティスペースの活用を行われています。道の駅も加工所が併設され、特産のヒメノモチを中心に戦略的な運営をされています。いずれの取り組みも、中心となる人が前向きで素晴らしかったです。サミットと視察、二つの体験から、地域づくりにおける「人」の重要性を改めて感じることができました。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム活動報告

「支え合い」について、少し考えてみましょう。

支援や介護が必要な方に対しては、様々な専門のサービスがあります。入院・通院等の医療制度、訪問介護や生活支援といった介護制度は、これからの社会に欠かせません。

一方で、そうしたサービスだけでは、住民のニーズを満たすためには不十分という現実もあります。粗大ごみを出したくても一人では重くて運べない、手が届かなくて電球が換えられない、仕事が忙しくて子供を迎えに行けない……そうした各種制度では対応が難しい「ちょっとした困りごと」は、人口減少に伴ってますます増加することでしょう。

そこで住民の皆さんに向けて提案したいのが、隣の家や集落の中、小さなコミュニティ内での「支え合い」です。

去る10月24日(水)、公益財団法人さわやか福祉財団の高橋望さんを講師に招き、「支え合いのまちづくりワークショップ」の第一

回目を開催しました。上で挙げたような「ちょっとした困りごと」

は、医療や介護などの専門職ではなく、誰でも支えられる小さなことばかりです。地域の中に支え合いの仕組みがあれば、より暮らしやすい地域になるはず。

今回は、その仕組みづくりのきっかけとして、ニーズを掘り起こすことと担い手の発掘の重要性について学び、ゲームやワークショップを通して「支え合い」とはどういうものか」を体験しました。

支え合いの仕組みは、行政サービスのように一方的に提示することでは成り立ちません。大切なのは、地域で暮らす皆さんと共に考えてゆくことです。

一人ひとりがかけがえのない「地域の宝」である——そう思えるまちを目指して、支え合いの仕組みづくりに取り組んでゆきます。第二回ワークショップは11月26日(月)を予定しています。ぜひ、地域を担う皆さんの力をお貸しください。

動画で町報こうふ!



以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。

「町民アンケート」の集計結果について⑦

町と地域（集落）の今とこれからを考える ～いつまでも暮らしやすく、住み続けたい江府町に～

今後予想される少子・高齢化、人口減少に対応し、地域課題の解決と将来のありたい姿を目指しつつ、地域での暮らしを持続可能なものとする必要があります。このためには、「こうなってほしい」という思いだけで終わらせるのではなく、「考える」から「行う」ようにしていかなければなりません。

「いつまでも暮らしやすく、住み続けたい」まちづくりをすすめていくため、集落総合点検事業の結果をもとに考えていきます。

■課題として見えてきたこと（集落総合点検事業から）

○（テーマ1）この集落で生活する上で困っていること、不便なこと、心配なこと

（上位の項目）①生活・交通 ②農業・林業 ③高齢化 ④集落 ⑤人

【主な課題】

- ▶生活サービス（買い物など）の確保（「近くで日用品などが買えないなど」）
- ▶移動（交通）手段の確保 ▶農用地等維持管理
- ▶高齢化に伴う集落の維持など（担い手の確保、負担の増加）

○（テーマ2）この集落の自慢できること、誇れるところ、素晴らしいところ

（上位の項目）①人 ②自然・環境 ③地域 ④立地 ⑤農業

- ▶仲が良く、団結力、結束力がある
- ▶地域の資源（人、自然・環境、風土、歴史など）は素晴らしい
※まだまだ、豊富な地域資源を活かしきれていない面も。

○（テーマ3）将来、この集落はどうなって欲しいですか？“夢”や“希望”について

（上位の項目）①人口 ②生活・交通 ③地域活性化

④観光・楽しみ ⑤農業・林業

- ▶子ども、若者の増加、定住がすすむ地域
- ▶生活サービス、交通手段の確保できる地域
- ▶（次世代へつなげる）にぎやかで元気な地域
- ▶豊かな資源を活かせる地域
- ▶集落営農など農業が続けられる地域



人口減少（少子・高齢化、若者転出など）



地域経済の縮小、担い手の不足へ

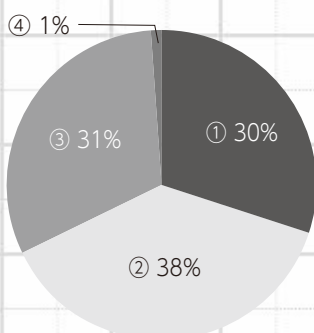


様々なサービスの確保、集落の維持管理活動が困難に。

（人口減少を緩やかにしつつ、上記の確保、対策を考えていきます。また、より一層地域内で経済が循環する仕組みを考えていく必要があります）

○ありたい地域づくりのため、地域課題の解決と地域資源を活かした取り組みへ
（これら地域、各種団体等の取組を後押ししていきます）

【問24】あなたは区長をはじめとした集落に対する行政からの各種委員（役員）の割り当てについてどう思われますか。



- ① 今くらいがちょうど良い
- ② 成り手が減少しているので、減らすべきである
- ③ わからない
- ④ その他

- ・各集落毎に約10ほど割り当てのある各種委員（役員）（行政以外ではさらにあります）について、約4割の方が「成り手が減少しているので減らすべきである」と回答されています。
- ・アンケート結果から地域を支える担い手不足や地域活力の低下が危惧されている中、少しでも負担を軽減し担い手の方を確保するためにも各種委員（役割）の見直しが必要となっています。

■課題として見えてきたこと（アンケート結果から）

- （人口減少で不安なこと、集落の活動の継続が困難に）
- ▶地域を支える担い手不足や地域力の低下
- ▶集落の維持管理活動（神社・仏閣・墓地含む）が困難に
- ▶農地や山林での共同作業が困難に
 - ⇒ 個々の集落の存在を前提としつつ、より広い範囲で活性化を図る取り組みも必要です。
 - ・約57.6%の方が、従来の枠組み（集落）にとらわれないことを検討すべきと答えています。
 - ・住民の皆様と行政が一体となって考えていきます。
- ▶空き家の増加、土地の荒廃、耕作放棄地の増加の対策
 - ⇒ 移住定住対策は、受け入れ体制の確保が必要
 - 各地域で守るべき農地を明確化
 - 各地域で人・農地の徹底した話し合い
 - 集落営農の取り組みなどへ
- ▶保険料や医療費の増額など、社会保障にかかる個人の負担増
 - ⇒ 上記だけでなく、分母となる人口が減少すると様々な負担が増加することが想定されます。

●様々なサービスの確保のために
（多くのお金が町外へ）
（例えば）

食料品や日用品を月に一世帯当り
10,000円（一日あたり約333円）
を町外で使うとすると、年間12か
月で12万円。

江府町約1,000世帯×年12万円＝
1億2千万円となります。



月に一世帯当り1,000円（一日あ
たり約33円）を町内で使うと、
江府町約1,000世帯×年1万2千
円＝1千2百万円

※10分の1でも町内で消費され
ると、地域内で経済が循環するこ
とになります。

（雇用の確保、町内での働き場の
確保につながることも）

■集落総合点検事業の取組のステップ、今後の展開について

- ・人口推計の提示
- ・町民アンケートの実施（中学生以上）

「集落の実態を知り、実態を集落と役場とで共有する」ことから

地域の課題（困りごと）や魅力、資源、ありたい姿の把握・共有

（テーマ1）この集落で生活する上で困っていること、不便なこと、心配なこと…など

（テーマ2）この集落の自慢できること、誇れるところ、素晴らしいところ…など

（テーマ3）将来、この集落はどうなって欲しいですか？“夢”や“希望”について

○平成30年度（実態から具体的な取り組みを考える）

少しでも暮らしやすくなるために、課題（「困っていること、不便なこと」）の解消に向けて話し合い

- こうすればもっとよくなる！（アイデア）
 - ・・・「集落（地域）」はどうなって欲しいか話し合い
 - ※昨年からの続き（目指すべき姿の共有）
- こんな集落（地域）になったらいいな！（ビジョンなど）
 - ・・・「やれるコト・できるトコロ」具体的に

- ・行政がすべきこと、住民の皆様と行政が協働でできること、自分たちでできることを整理します。
- ・具体的な対策（方策）について、住民の皆様とともに考えていきます。
- ・共通の課題については、町が施策を考えていきます。

○平成31年度～

（「考える」から「行動」へ 具体的な取り組み、活動の展開）

- 「課題の解決」に向けた取り組み
- 「将来のありたい姿」へ向けた取り組み

課題解決・将来像の実現に向けて

- ・町として積極的に取り組みを支援
- ・共通の課題に対して町として施策を実施

「できることから」から「一つずつ」⇒「暮らしやすく」、「魅力ある」地域へ

五感はフル活動！奥大山の魅力をぎゅっ〜とつめこんじゃいました！

錦秋の大山環状道路を歩こう！

10/27

第2回大山紅葉満喫ウォーク

霧が立ち込める鍵掛峠展望台



いたるところで記念撮影



▲(写真左から三番目) 日野振興センター雨宮達樹さん(江府町地域おこし協力隊OB)が案内されていました

奥大山江府町の地元グルメが大集結！

10/27・28

第10回 2018 奥大山江府町 秋の美味しいもん祭り



江府町名産大山おこわも盛況！



笑顔があふれます



行列のからあげをゲット！



おひとついかがですか！



マヨネーズはたっぷりです！

平成30年度江府中学校文化祭「日輪祭」



①学年発表（1年） ②学年発表（2年） ③学年発表（3年） ④有志発表 ⑤第48回吹奏楽部定期演奏会
⑥全校合唱 ⑦合唱コンクール ⑧校内弁論発表 ⑨江府町を考えるフォーラム2018 ⑩作品展示

地区対抗で白熱！！スポーツで健康づくり

～第39回江府町高齢者スポーツ大会～

10月12日、江府町民総合体育館にて開催され、子供の国保育園年長児・年中児も参加。園児との合同種目など6競技が実施されました。結果については以下の通りです。

優勝 神奈川Bチーム
準優勝 江尾Bチーム
第3位 神奈川Aチーム





図書館だより

江府町立図書館（江府町防災・情報センター内）

開館時間：月～金 午前8時30分～午後7時

土日祝 午前8時45分～午後5時30分

お問い合わせ：75-2005（江府町教育委員会事務局・共通）

※図書館での行事については、巻末カレンダーもご参照ください。

◎図書館キャラクター「1期生」

任期満了について

町内の小・中学生を対象に昨年募集した図書館キャラクターの任期が、12月で満了します。

1年間広報係として活躍してくれたキャラクターたちには、これからも図書館の中でお知らせ係を担当してもらいますので、図書館に来たときは探してみてくださいね。

◎図書館キャラクター「2期生」

募集中！

1期生の任期満了に伴い、新しい図書館キャラクターを募集中！応募資格は「町内の小・中学生であること」。本が好きな気持ちを込めて、自由にデザインしてください。（※詳しくは応募用紙をご覧ください）

【応募期間】

11月1日（木）～11月25日（日）

◎コーナー名決定！

「101歳文庫」

町報8月号でご案内した「大活字図書」は、1階の図書館カウンスターの横の本棚にあります。このたび、このコーナーを「100歳の先を目指す」を目標に、「101歳文庫」と名付けて看板を設置しました。

大きな活字の本以外にも時代小説や健康に関する本を置いてい



▲「101歳文庫」の看板

す。元気に活躍する高齢者の体験記や人生論など、これからその年齢に向かう上で参考になる本も置いていきます。

◎コーナー名リニューアル！

「絵本・きっず・こーな」

絵本と紙芝居の本棚がある絵本

コーナーが、新しく「絵本・きっず・こーな」になりました！

じっくり絵本を選ぶのはもちろん、小さなおもちゃで遊ぶこともできます。

毎月のおはなし会

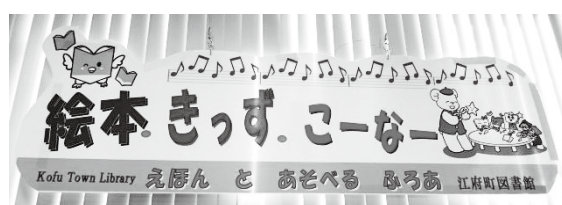
や、幼年工作教室もこのスペースで開催しています。

◎看板をつくりました♪

どの本棚にどんな本が置いてあるのかがわかりやすいように、大きな字の看板を新しく置きました。7月のリニューアルから、更に変わっていく図書館。これからもお見逃しなく！



▲1階の本棚に設置した看板



▲「絵本・きっず・こーな」の看板



▲ピアノサロンの様子

日 時：毎週水曜日 16時～18時
毎週日曜日 9時～14時
場 所：防災・情報センター
参加費：1回 1,500円

今回は自主講座のピアノレッスン教室をご紹介します。現在十数名の方が受講され、個人レッスンを基本として、幼児から大人までどなたでも受講することが出来ます。一人一人に合わせた教材が用意され、弾いてみたい曲などがあれば対応することも出来ます。今後、ピアノサロンなどが開催されますので、ぜひ足を運んでみてください。
ご興味のある方は江府町教育委員会事務局（TEL751-2005）までお問い合わせください。

公民館講座のご紹介



エリカ先生の KOFU DE ACADEMIA 3

I look forward to this time of the year: Halloween festivities, cooler weather, pumpkin everything, leaves turning and falling, etcetera. While preparing for Halloween at the schools, I learned that the white tissue paper ghosts I had been making closely resembled teru teru bouzu. The white bulbs, in my case, serve the sole purpose of Halloween decorative ghosts, not rain charms. They are supposed to be a spooky item for kids to enjoy a spooky holiday. I know originally they also represented the dead coming back to Earth for a day. Creepy, right? Kids dress up in costumes and trick-or-treat to scare the dead souls away, with the bonus of receiving candy from neighbors. It's a bit different from a Japanese costume party I hear.
Something else I recently became aware of is that St. Louis Halloween differs a bit from the rest of America. When I was little, I had to prepare a joke to tell the neighbors at the door before receiving candy. I assumed it was the 'trick' in trick-or-treat. However, I became aware this wasn't the case for my out-of-state friends. I was shocked at this news! Apparently, even St. Louis has their own Halloween customs!

エリカ先生の動画はこちらから



私は1年間、この時期を待っていました。そう、ハロウィーンです。涼しくなり、どこもかしこもパンプキン、木の葉の色は変わり、落ちていく・・・などなど。学校でハロウィーンに向けて準備しているときに気づいたことがあります。作っていたティッシュのお化けが、てるてる坊主によく似ているということです。私の場合、白い球はハロウィーンのお化けの飾りであり、雨のお守りではありませんが。お化けの飾りは子どもたちが気味の悪い休日を通るための怖いアイテムになるようになっています。もともとは、その飾りは1日だけ地球に戻ってくる死を表していました。ぞっとしますよね。子どもたちは仮装をして、「トリックオアトリート」と言って死の魂を怖がらせます。近所の人からキャンディーをもらうというおまけつきで。これは私が聞いた日本の仮装パーティーとは少し違います。

私が最近気づいたことは、セントルイスのハロウィーンは、アメリカの他の（地域の）ハロウィーンと少し違うということです。小さいとき、キャンディーをもらう前に、家のドアのところで近所の人に言うジョークを準備しておかなければなりませんでした。私はそれが「トリックオアトリート」なのだと思っていました。しかし、これはアメリカの他の地域の友だちにとっては違うということに気づいたのです。これにはショックでした。明らかに、セントルイスには独自のハロウィーン文化があるのです。

江府町の地域おこし協力隊の活動日記

vol. 5
『日頃お世話になっている方にインタビューしてみました』

今回は、岩崎隊員がお世話になっている、柿原有志の会（前：柿原炭組合）の奥田隆範さんにお話を伺いました。

●岩崎さんとの活動のきっかけを教えてください。

奥田 平成6年に柿原炭組合で竹炭や竹酢液を作り始めましたが、平成29年3月に柿原炭組合を解散して、もう炭焼きをやるつもりはありませんでした。そんな中、去年の6月に岩崎さんが柿原に来られ「竹や竹炭に興味があつて、一緒にやりたい」と言われました。

岩崎 以前から、竹や竹炭、クロモジを使った商品開発の構想があつて、江府町の協力隊として赴任してしばらく町内を知るために色んなところに行っていたら、奥田さんとお会いしました。最初は竹に関する話をしていたのですが、「クロモジも気になって」と話したら、奥田さんもクロモジを何とか出来ないかと思つておられたようで、意気投合しました。

奥田 岩崎さんの熱い気持ちに押されて、『これで終わるのはもったいない』と思い、柿原有志の会

を作り、竹炭や竹酢液づくりを再開しました。

●岩崎さんと一緒に取り組んでいる事がありますか。

奥田 竹林整備事業を、今年の10月～来年3月まで一緒に行います。それと、私たちは竹炭や竹酢液を作る事は得意だけど、それを商品にして、売る事が苦手なんです。なので、竹ピカ以外の新しい商品が無い。岩崎さんは新しい商品を作る事を熱心に取り組んでくれるので、お世話になっています。

岩崎 新商品として、竹炭を使った消臭アロマや、竹ピカに次ぐ竹酢液とクロモジを使った洗剤を考えてます。消費者が使いやすい竹炭の活用法を考えて広めたり、人にも森にも優しい商品を作る事を目指しています。

●岩崎さんが来るようになって、変わったことはありませんか。

奥田 岩崎さんから刺激を受けた事が、会を再結成する大きなきつ

かけになりました。せっかく江府町を選んで移住してきてくれたので、協力したいと思つて、竹炭作りを再開したことです。

●岩崎さんに期待することはありますか。

奥田 江府町にこれからもずっと住んで、竹炭や竹酢液、クロモジを使った商品をどんどん作って欲しいです。

岩崎 奥田さんや柿原有志の会の皆さんが協力してくださるので、新たな特産品になるような商品を生み出すために、いろいろチャレンジしていきます！



▲竹炭＆竹酢液を作っている窯の前で



日野高レポート 第3回 課題研究を発表するの巻

10月4日（木）、6名の生徒が江府町を訪れ、町関係者にむけて課題研究の成果を発表しました。動画制作班は旧江尾発電所を紹介する動画を制作。町関係者から「ナレーションも入れると、さらに良くなるのでは」とアドバイスを受けた。

アプリ制作班は全国各地に仕掛けられたクイズを解いて周るスマートフォン向けアプリ（「まちクエスト」）に、江府町を紹介するクイズを設定。アプリの参加者にはイラスト班が制作したポストカードが進呈されます。町関係者からのアドバイスを受け、案内チラシを作成し、配布する予定です。アプリはすでに配信していますので、左記のQRコードを読み取り、ぜひお試しください。



▲町関係者からアドバイスを受ける様子



▲「まちクエスト」QRコード

昨今の自然との 関わりに思うこと



江府町農業委員
川上博久さん
(江尾本一)

子どもが子どもらしく生き生きとした時代で、自然と一心同体でした。

今は、コンクリートやアスファルトに囲まれて暮らす子どもたち、心の中にどのような原風景が写っているだろうか。子どもたちの未来を考えると大変心配でもあります。

私たちの世代は、暮らしの中において、土や水といった身近な自然と触れ合うことが当たり前でした。しかし、今の子どもたちには、土は汚い、川は危険なもの、我々大人が伝えてしまっているのではないのでしょうか。

自然の恩恵を当たり前に思っていた時代は、遠く過ぎ去っているのです。

今、我々大人にできることは、自然の中で生かされていることを再認識するとともに、子どもたちに自然の素晴らしさ、保全することの大切さを身をもって伝えることではないかと考えています。

「法面管理省力化事業について」

私たちが営農する江尾原団地では、鳥取県の法面管理省力化実証

実験モデル地区として、センチピートグラス（和名…ムカデ芝）の植栽を実施しています。

傾斜地が多い中山間地域においては、農業者の高齢化もあり、水田畔の草刈作業が大きな負担となっていますが、このセンチピートグラスにより、草刈作業の大幅な負担軽減が可能になります。

事前に数回の雑草処理の後に、種子吹付を行います。事業実施から3年が経過した現在、草丈約15センチ程度と順調に生育し、効果を実感しているところです。

現地の見学等ご希望の方は、農業委員会事務局にご連絡ください。



▲植栽されたセンチピートグラス

農業委員会総会のご報告

<10月10日(水)開催分>

以下、審議案件すべて承認されました。

農用地利用集積計画（案）	3件
農地法第5条の規定による許可申請	1件

11月の農地相談会について

農地の売買、相続、転用に関する事など、お気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 11月29日(木)
午後1時30分～午後3時30分まで
- ◎ 場 所 山村開発センター

問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎(75)6620



年金受給者説明会の開催について

現在年金を受給されている方が対象に年金を受け取るにあたって、必要な届出や手続きについて日本年金機構米子年金事務所が説明いたします。

▶日時：11月29日（木）

【受給者説明会】

午後2時～2時45分

【個別相談】（要予約・先着5名様）

午後3時～

▶場所：江府町防災情報センター
2階会議室

▶主催：日本年金機構米子年金事務所お客様相談室

問い合わせ・予約先

江府役場住民課

☎0859-75-3223



ふぐ処理師試験の実施について

▶試験日時

(1) 学科試験

平成31年1月25日（金）

午前10時～正午まで

(2) 実技試験

平成31年1月25日（金）

午後1時～

▶試験場所

「倉吉市立伯耆しあわせの郷」
倉吉市小田458

▶受験願書受付期間

平成30年12月3日（月）～
12月14日（金）まで（日曜
日及び土曜日除く）

試験の詳細については、下記へお問い合わせください。

問い合わせ

西部総合事務所生活環境局

☎0859-31-9321



平成30年度 自衛官候補生採用試験

▶試験日：12月15日（土）

▶年齢条件

平成31年4月1日現在、
18歳以上33歳未満の方

●受付期日

11月16日（金）～12月7日（金）

問い合わせ

自衛隊米子地域事務所
米子市西福原3丁目3-1
YNT第4ビル2階
☎0859-33-2440



西部消防局からの お知らせ

平成28年12月に発生した新潟県糸魚川市大規模火災の教訓を踏まえ、小規模な飲食店等に対する消火器具の設置義務が強化されます。

消火器を設置しなければならぬ防火対象物として、飲食店等で延べ面積150㎡未満のものうち、火を使用する設備又は器具（防火上有効な措置として総務省令で定める措置が講じられたものを除く）を設けたものが追加されます。

飲食店を営営されます事業者の皆様には、法令改正の趣旨をご理解の上、2019年10月1日までに消火器の設置をお願いいたします。なお、今後、当局から法改正のご案内及び現地確認等を行う予定としています。

詳細は、最寄りの消防署にお問い合わせください。

問い合わせ

江府消防署

☎0859-77-2001



「お知らせ」「イベント」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

江府町役場

☎0859-75-2211（代表）
〒689-4401 江府町大字江尾475



解放文化祭の開催について

【作品展示】

▶日時：12月1日（土）・2日（日）
午前8時30分～午後5時

【文芸発表の部】

▶日時：12月2日（日）
午後1時～4時

▶場所：本町5丁目集会所

問い合わせ

本町5丁目集会所

☎0859-75-2624



小規模企業共済制度のご案内

個人事業主（共同経営者含む）・会社等の役員の方が事業を廃止された場合などに備えて、あらかじめ資金を準備しておく共済制度で、「小規模企業の経営者のための退職金制度」といえます。

特徴は、掛金が全額所得控除。毎年、掛金が所得控除となるため節税効果があります。（独）中小企業基盤整備機構が運営し、商工会、商工会議所、青色申告会、金融機関の本支店などの窓口で取扱いしています。

問い合わせ

中小機構本部共済相談室

☎050-5541-7171

（平日：午前9時～午後6時）



地域支援セミナーの開催について

障がい者の現状や支援体制を考える地域支援セミナーを開催します。日野郡では初めてのセミナーで、誰でも参加できます。ぜひ、ご参加ください。

▶日時：11月20日（火）

午後4時～5時30分

▶場所：日野町山村開発センター

▶テーマ：中山間地域における障がいのある方の支援の取り組み事例について

※パネルディスカッション、意見交換を予定しています。

問い合わせ

江府町役場福祉保健課

☎0859-75-6111



11月は労働保険適用促進強化期間です

法人・個人を問わず事業主の方は、正社員、パート、アルバイトといった雇用形態に関らず、一人でも雇ったら労働保険に必ず入らなければいけません。労働保険は、従業員の安心と会社の安定のための保険です。「そもそも知らなかった」、「小さい会社だから大丈夫だと思っていた」、「設立準備が忙しくて忘れていた」など様々な理由があると思いますが、従業員のために加入することは事業主の責任です。加入手続きをされていない事業主の方は、速やかに手続きをしましょう。詳しくは鳥取労働局または最寄りの労働基準監督署・ハローワーク（公共職業安定所）をお尋ねください。

連絡先

鳥取労働局労働保険徴収室

☎0857-29-1702



指名手配被疑者の検挙にご協力を

指名手配被疑者の発見に向けた捜査活動には、皆さんのご協力が是非とも必要です。

指名手配被疑者によく似た人を見掛けたといった情報など、どんなわずかなことでも結構ですので、警察に通報していただきますようお願いします。

問い合わせ

黒坂警察署

☎0859-74-0110



筆談セミナーについて

▶日時：11月27日（火）

12月8日（土）

▶場所：米子コンベンションセンター

▶定員：30人

▶申込締切：11月20日（火）

問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人

全国要約筆記問題研究会鳥取支部

☎0859-22-2301



司法書士無料法律相談会について

▶日時：11月22日（木）

12月14日（金）

午後6時～8時

（前日までに要予約）

▶場所：米子コンベンションセンター第1会議室

問い合わせ・予約先

鳥取県司法書士会

☎0857-24-7024



オレンジリボンたすきリレーの開催について

「子ども虐待のない社会の実現」への思いを胸に、米子児童相談所管内の西部地区9市町村から米子児童相談所を目指し、ランナーが『オレンジリボンたすき』をつなぎ、啓発を行います。

▶日時：11月17日（土）

午前9時30分～

▶内容

①日野町からたすきを受け取り、江府消防署を出発

②江府町総合健康福祉センターを経由（出発式）

③道の駅奥大山へ到着後、伯耆町へたすきをつなぐ

▶ゴール会場での催し

・団結式（12時10分～）

・児童虐待防止宣言

・たすき引き渡し式 他

※雨天時はゴール会場での催しのみ行います。直接、米子児童相談所へお集まりください。

▶主催：鳥取県西部地区オレンジリボンたすきリレー実行委員会

問い合わせ

江府町役場福祉保健課

☎0859-75-6111



児童相談所全国共通ダイヤル「189」について

11月は児童虐待防止推進月間です。「虐待かも?」と思ったら、児童相談所全国共通ダイヤル「189」にいちはやく連絡しましょう。また、自分自身が虐待をしてしまいそうとき、虐待を受けている疑いのある子どもを見つけたときは、まず相談してください。

町内相談機関

江府町役場福祉保健課

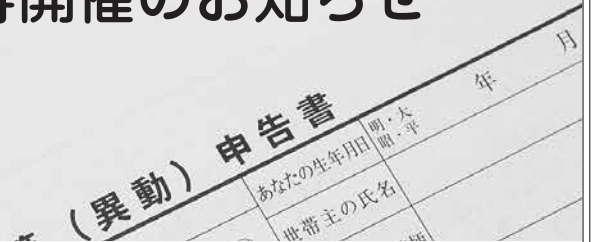
☎0859-75-6111



源泉徴収義務者の方対象

年末調整の説明会等開催のお知らせ

源泉徴収義務者の方を対象とした、平成30年分
年末調整の研修会及び説明会が、下記のとおり開催
されます。



税務研修会【平成30年分 年末調整のしかた・消費税軽減税率制度について】

日 時：平成30年11月21日（水） 午後1時30分～4時30分
会 場：日野町山村開発センター（日野町根雨130-1）
主 催：公益社団法人 米子法人会（☎0859-32-6616）
講 師：米子税務署担当官

【平成30年分 年末調整説明会・消費税の軽減税率制度等説明会について】

日 時：平成30年11月19日（月） 午後1時30分～4時30分
会 場：米子コンベンションセンター（米子市末広町294）
主 催：米子税務署（☎0859-32-4121）
◎ 「平成30年分年末調整説明会」に引き続き「消費税の軽減税率制度等説明会」を開催します。
◎ 駐車場につきましては、混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

第44回 江府町人権・同和教育研究集会

兼 江府中PTA人権公演会に 落語家 桂こけ枝 さんが やってくる！

こけ枝のほのぼの人権噺

<日 時>平成30年11月17日（土）
午後1時 受付開始
<ところ>江府中学校多目的ホール

落語家
劇団786・桂こけ枝一座座長

桂 こけ枝



参加は無料！

どなたでもご参加いただけます。お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

【お問い合わせ先】江府町教育委員会事務局 教育課 ☎75-2223

江府町ホームページの移住・定住サイトがリニューアルしました

江府町ホームページ移住・定住サイトとNPO法人「こうふのたより」のホームページが連動しました。NPO法人「こうふのたより」のホームページの「空き家情報」、「お知らせ・移住イベント」、「移住者インタビュー」などの情報が、江府町ホームページ移住・定住サイトでも表示される仕組みです。

相互間で移住・定住の情報を発信し、移住・定住促進を目指していきます。



▲江府町ホームページ移住・定住ページの例

気をつけよう くらしの注意情報

「火災保険で家の修理を」と勧誘されトラブルに!



～「保険金で家の修理ができる」との電話勧誘、
訪問勧誘には要注意～



アドバイス

- ・「自己負担なく保険金で家の修理ができる」と勧誘されても、すぐに契約するのはやめましょう。
- ・損害保険は、基本的に火災・落雷・風災・水災などの自然災害などの事故によって建物等に生じた被害を対象とし、建物の経年劣化による損傷は、原則補償の対象とはなりません。保険が適用するか、まずは保険会社に確認をしましょう。
- ・契約前に、複数の業者から見積りを取り、工事内容ばかりでなく、保険請求のサポート手数料の有無、違約金も確認しましょう。不安な場合やトラブルになった場合は、まずはご相談ください

突然、知らないリフォーム業者が訪問してきて、「火災保険の保険金を使って、自己負担なしで家が修理できますよ。保険の手続きはサポートするので修理しませんか?」と勧誘されました。

「雨どいの一部は台風で壊れたけど、壁のひびは台風での被害じゃないし、家の修理をどうするかはもう少し考えてからにします。」と断ると、「保険申請はこちらでうまくやるので大丈夫、まずは見積りを」と言われましたが、不安です。



○消費生活相談員による相談窓口

11月14日(水)、12月5日(水)、12月26日(水) 9時～16時
役場本庁舎1階会議室にて開催(役場正面向かって右側の入り口からお入りください)

○通常の相談窓口

平日：江府町役場 住民課
(75-3223)

土日：鳥取県消費生活センター
(0859-34-2648)※祝日、年末年始除く

まずはお気軽に
ご相談ください



日野郡鳥獣被害対策協議会は平成25年に設立し、翌26年から実施隊の活動が始まりました。実施隊の活動において最も重要なことは、皆さんが動物のことを理解し、効果のある被害対策を行っていたことです。「効果のない被害対策」とはどんなものでしょうか。それは人間の視点で行う対策です。インターネットやテレビで様々な対策やグッズが紹介されています。剣山のようなトゲトゲを敷いたり、有刺鉄線を張り巡らしたり、オオカミのおしっこを撒いたり、青色電灯を光らせてみたり、ロボット犬が吠えたりなどなど。しかし、これらほとんどは効果が実証されておらず、効果がごく短時間しか持続しないというもの。効果がほとんどないのは動物の生態や行動に基づいて作られていないからです。

獣害対策 最前線 第8回 研修会について

日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也
【問い合わせ】0859-72-1399

一方、電気柵やワイヤーメッシュ柵など効果があるとされている資材が「十分に効果を発揮していない」、「効果がなくなった」と言われる方がいますが、それは道具の問題ではなく、設置方法の問題であることがほとんどです。動物の視点から見ると無駄になってしまっていることがあるのです。

いずれも人間の視点や都合で考えて、動物に対して十分な効力を発揮できていないのです。そこで実施隊では、研究や実験で得た知見、これまで撮りためてきた映像などを使って、動物の生態と被害対策についての研修会を開いています。集落座談会や生涯学習教室など、どこでも出前研修会を行いますので、役場または協議会にご連絡ください。農閑期に入る今がチャンスです!

また、この連載で紹介した写真の動画版や色々な動物の生態についてブログで公開しています。ぜひ、「日野郡鳥獣被害対策実施隊」で検索して下さい!



▲ブログはこちらの
QRコードから

今年度で納税組合での徴収が終了します

平成30年度をもちまして、各集落の納税組合での税金・保険料の徴収が終了します。
平成31年度からは、以下のとおり個人での納付となります。

- ① 関係書類の送付について
役場から納税義務者のご住所（居所）へ直接、納税通知書と納付書を送付します。
- ② 納付の方法について
 - ・ **現金納付** の場合 … 納付書を金融機関（山陰合同銀行・鳥取銀行・鳥取西部農協）または役場本庁舎の出納室に持参し、納付してください。
 - ・ **口座振替** の場合 … 納付月の末日（休業日の場合は翌営業日）に登録口座（山陰合同銀行・鳥取銀行・鳥取西部農協・ゆうちょ銀行）から引き落としされ、納付が完了します。

口座振込のご利用をおすすめします

口座振替にすると、3つのメリットがあります。

- ① 現金の準備や納付書を保管する必要がなくなります
- ② 納付のたびに金融機関に行く必要がなくなります
- ③ 納め忘れがなくなります（口座の残高確認はお忘れなく！）

※新たに口座振替を希望される場合は、口座振替の申込書が各金融機関（山陰合同銀行・鳥取銀行・鳥取西部農協・ゆうちょ銀行）の窓口にありますので、記入・押印の上、金融機関の窓口に直接ご提出ください。

ご不明な点がありましたら、役場住民課税務担当（電話：75-3223）までお問い合わせください。



今月の国民年金

納付期限 11月分 平成31年1月4日（金）まで

平成30年4月から平成31年3月までの国民年金保険料は月額16,340円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限までに納めましょう。

- ・ 固定資産税（4期）
- ・ 国民健康保険税（6期）
- ・ 介護保険料（6期）
- ・ 後期高齢者医療保険料（5期）

納付期限及び口座振替は
11月30日（金）です。

人の動き

10月届（敬称略）

◎ご結婚を祝します

谷口 知子（小原）
渡辺 宏平（米子市）

◎お誕生おめでとう

（住所） 氏名 （性別） （保護者）
佐川 渡邊 響希 男 裕貴

◎ごめい福を祈ります

（住所） 氏名 （年齢） （世帯主）
宮の前 土井垣史朗 66歳 幸典

荒田 阿部 鶴代 94歳 朝親

池の内 井原美壽枝 98歳 本人

吉原 大田千代子 88歳 薫

ご寄付

社会福祉協議会に次の方から
ご寄付をいただきました。

（10月分） 敬称略

◎香典返しとして

神奈川 加藤 満 母恭子死去池の内

宮の前 土井垣尚美 夫史朗死去

宮市 末次芙美枝 夫喜三男死去

荒田 阿部 壽満子 母鶴代死去

吉原 大田 薫 妻千代子死去

■まちの人口 2,945人（-3）
男 1,380人（-1）
女 1,565人（-2）
■世帯数 1,054世帯（+1）
10月末現在（ ）は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

平成30年10月31日現在
延申込件数 410件
（前月比+89件）
延寄付金額 5,230,000円
（前月比+126万円）

11月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
 本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
12 押し花教室 防 午後1時～5時 油絵・絵手紙教室 防 午後1時30分～3時30分	13 パッチワーク 同好会 防 午前9時～11時30分 パッチワーク 教室(年間) 防 午後1時～3時 アイリス合唱団 防 午後6時30分～9時	14 人権・行政相談 防 午前9時～正午 元気クラブ 本5 (広域隣保活動) 午前10時～11時30分 囲碁教室 本5 (広域隣保活動) 午後1時～4時30分 ピアノレッスン 防 午後4時～6時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	15 明徳学園開校日 陶芸教室 創 午後1時～3時 書道教室 防 午後1時30分～3時	16 手芸教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～正午 フラダンス教室 防 午後2時～3時30分	17 あみもの教室 本5 (広域隣保活動) 午前9時30分～正午 人権・同和教育研究会 兼 江府中PTA人権公演会 江府中学校にて開催 午後1時30分～4時15分 奥大山 プナの森 健康ウォークラリー 受付開始 8時50分 開会式 9時15分	18
鳥取県立博物館 移動展示「大山と牛馬守護の信仰」 防災・情報センター						
19 墨彩画教室 防 午後1時30分～3時30分	20 アイリス合唱団 防 午後6時30分～9時	21 元気クラブ 本5 (広域隣保活動) 午前10時～11時30分 大正琴教室 防 午後1時30分～4時 ピアノレッスン 防 午後4時～6時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	22 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	23 江府町文化協会 研究発表 防 午前10時～11時30分	24 和紙折紙教室 防 午後1時30分～3時30分 江府町立図書館 ものづくりクラブ (幼年向け) 防 午前10時30分～11時	25 ピアノレッスン 防 午前9時～午後3時 ふれあい もちつき大会 午前9時30分～正午 防災・情報センター前
鳥取県立博物館 移動展示「大山と牛馬守護の信仰」 防災・情報センター ～11/25まで						
26 押し花教室 防 午後1時～5時	27 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 書道教室 本5 (広域隣保活動) 午前10時～11時30分 パッチワーク教室(年間) 午後1時～3時 防 アイリス合唱団 開 午後6時30分～9時	28 ピアノレッスン 防 午後4時～6時 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	29	30 人権・同和教育講座 たんぽぽ学級 防 午後7時～8時30分	2018 おくだいせんくん 対象イベント スマイルポイントラリー 11月25日(日) ふれあいもちつき大会 12月 8日(土) 星ふる雪ふるはあとふるコンサート 12月 9日(日) 江府町バドミントン大会 対象イベントに参加してポイントをゲット! 詳しくは教育委員会事務局(75-2005)まで	

12月

防=防災情報センター 開=山村開発センター 福=総合健康福祉センター 役=江府町役場本庁舎 創=高齢者創作館
 本5=本町5丁目集会所 セ=せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
第35回 解放文化祭 ～想いを新たに深めよう、解放のきずな～ 12月1日(土) 作品展示 午前8時30分～午後5時 12月2日(日) 作品展示(時間は同上)、文芸発表 午後1時～4時 会場: 本町五丁目集会所 お問い合わせ: 本町五丁目集会所 tel 0859-75-2624 大山おこわ、コーヒー、やきそば、豚汁の出店やってます!					1 第35回 解放文化祭 作品展示	2 まなびや 防 午前9時～正午 ピアノレッスン 防 午前9時～午後2時 第35回 解放文化祭 作品展示・文芸発表
3	4 アイリス合唱団 開 午後6時30分～9時	5 大正琴教室 防 午後1時30分～4時 ピアノレッスン 防 午後4時～5時30分 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時 奥大山カフェ 防 午後7時～9時	6	7	8 星ふる 雪ふる はあとふる コンサート 午後1時30分～3時30分	9 ピアノレッスン 防 午前9時～午後3時 江府町立図書館 おはなし会 防 午前10時30分～11時
10 押し花教室 防 午後1時～5時 油絵・絵手紙教室 防 午後1時30分～3時30分	11 パッチワーク同好会 午前9時～11時30分 防 パッチワーク教室(年間) 午後1時～3時 防 アイリス合唱団 防 午後7時～9時	12 元気クラブ 本5 (広域隣保活動) 午前10時～11時30分 囲碁教室 本5 (広域隣保活動) 午後1時～4時30分 ピアノレッスン 防 午後4時～5時30分 ストリートダンス教室 防 午後6時30分～8時	13 社交ダンス教室 防 午後2時～4時	14 いけばな教室 防 午後7時～8時	15	16 ピアノレッスン 防 午前9時～午後3時

「森と水の学校～ブナの実プロジェクト～」は、サントリー「天然水の森 奥大山」で開かれる自然体験プログラムで、毎年江府小学校の4年生を対象に実施されています。今年も児童10名が、9月に水育「出張授業」で水と森の役割について学び、10月4日には、学んだことを実際に体験しながら、きれいでおいしい水を育む森について学びました。また、5年前に先輩達が種をまき、学校のブナ畑で育てた苗を森に植樹しました。植樹は、鳥取大学の日置教授指導のもと行われ、チームで協力しながら根を傷つけないように丁寧に植えていました。

沢まで降りるの大変だけど楽しー！



僕たち土かけるから、苗を支えてね



水はどこから来たの？



今年もブナの実をまきました

森！

川！

植樹を終えた後は、昼食を取り、いよいよ本谷川の渓流散策です。渓流までの道のりは険しく、ロープを使って上り下りをするようなところもありましたが、児童たちは声をかけ合いながら元気よく川へ向かいました。川に着くと、本谷川の澄んだ流れに歓声を上げ、水に足をつけてその冷たさに驚いていました。きれいな水を育む森の大切さを五感でしっかりと感じ取った子ども達です。

最後に、小学校に戻って未来の植樹のために、鉢にブナの実をまきました。奥大山の森を守ってくれるブナになるよう、育てていきます。

今月のフェイス



坂口 拓末さん

(京都在住、日の詰出身)

俣野小学校を卒業後、バドミントンができる環境を求め米子へ移り、中学校・高校を経て、現在は龍谷大学経営学部の4年生です。龍谷大学バドミントン部男子主将を務め、10月に行われた「福井しあわせ国体 2018」に鳥取県成年男子の一員として出場しました。チームは2回戦で敗退し、個人的にも初めての国体で緊張してしまい勝ち星を積み重ねられませんでした。しかしながら、声を出して、チームを引っばっていくように心がけました。バドミントンの魅力は「相手ではなく、自分に負けないようにするところ」です。

将来は体を動かすことやスポーツ自体が好きなので、スポーツ関係の仕事に就きたいと思います。江府町へ帰

省すると、いつもなつかしく落ち着きます。これからも「今のままで落ち着ける場所」であってほしいと思います。

COVER 一表紙の写真一



10月25日、紅葉の鍵掛峠で撮影しました。モデルは神戸生まれ、カナダ育ちのラフラム・モニカさん。現在、カサラファムを中心に、農業やデザインのお手伝いをされておられます。

今回、表紙の構図や見出しについて、モニカさんからのアドバイスをもとに制作しました。

